

# 月刊 まち・コミ 2008年3・4月号

● インフォメーション ● <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>

6月16日(月) 夜7:30～8:00 毎日放送ラジオ「ネットワーク1.17」で修学旅行生受け入れの様子が放送されます。また、放送翌日から1週間、インターネットでも聞くことができます。 <http://www.mbs1179.com/117/>



● 今月の注目記事 ● P1～P4 まち・コミ活動報告と今年度の予定

## まち・コミ活動報告と 今年度の予定



7/30専修大生が、御蔵の商店でヒアリング



9/17神戸大学防災ユースフォーラム研修での  
御管カルタ大会

昨年度も、みなさんには大変お世話になり、ありがとうございました。簡単ではありますが、活動の報告と、今年度の予定をお知らせいたします。応援よろしくおねがいいたします。

### 2007年度を振り返って

まち・コミュニケーションは、阪神・淡路大震災の復興の中で、御蔵地区の住民の方と共に、地域にとって大切なことに共に取り組みたいと取り組んできました。ただ、13年を経た現在、まち・コミ事務局の考えが及ばないまま、地域社会を生きる上で、地域の個人個人が、大切にしている「これまでの繋がりがりや、震災前の地元での活動や個人の関わりによる歴史の重み」のことにまで、よそ者として自分たちで構築した考えで新しく取り組もうと事業を展開

し、地域の政治に対立を招きました(2007年5月号参照)。まち・コミ事務局はその招いた中でも、よそ者としての視点で押し続け会議では説得していましたが、事態を改善しようと思うと、ますます譲れなくなっていました。その理由は、震災直後から全国の皆様に応援して頂いたことに、地域の一部の人に意識がないことへの事務局としての「歴史・文化を持つ心が喪失するのではないか」という危機感と葛藤があったことです。

対立を招いた、原因としては、地域社会に根ざして活動するためには、地域住民へ地域住民の生活に

即して、想像力が輝くよう、これまで組織や活動を、地域住民は納得できる形で説明をしきれていない事にあると思っています。

2007年のいろいろな事を体験する中で、こだわらず、まっすぐ目標を見定め、取り組む事を学び、応援して下さる住民の方とは共有しています。まだまだ地域にはいろいろ課題があり、まち・コミ会員皆様に気分の悪くされることもあるかと思いますが、今の私達の力で通るべき道としてお許し下さい。住民も地域に関係する者も、地域生活を継続し良くする目標は同じです。よって今ある資源を、課題のストレスで減少させるのではなく、目標への過程の方法論で横道にそれるような議論をせず、相手の存在まで否定するようなプレッシャーを与えないようにし、志を目標に向けて純粋に走らせ、そして、積極的に人が大事にしているところを尊重するような活動をします。今後ともよろしくお願ひします。

今年度11月3日に応援団の方に集まって頂き(2007年10・11月号参照)より、振り返りの必要を感じ、一つ一つのプロセスを大事にし、「人の力」を表現できるような、記録作りに取り組んでいます。そして改めて積極的に地域作りを考え、取り組みます。

今後ともご指導、ご助言よろしくお願ひします。

## 各事業の報告と予定

### 1 - 1 被災地まちづくり支援事業

#### ・神戸市長田区御蔵通

被災地で感じられることを活動に活かしています。地域を応援して下さっている地主さんと共に、地域福祉施設の検討をしています。これまでの地域力を活かして、地域福祉とは何か、まちづくりとは何かを考え、行動に活かしていけるように準備を進めています。

#### ・兵庫県豊岡市出石町鳥居

(市民農園再建交流事業 2007年8・9月号参照)

2007年度は、地域住民や農園利用者等と共に資源を発掘し、そして活かし、復興活動だけに終わることなく地域活性化のために工夫しながら「コミュニティーの持続的な発展を支援すること」を目標としました。

結果は、3haの農園での野菜作りに週2回奔走し、余裕が無くなってしまおうという課題が残りました。出石活動日数69日まち・コミ関係者活動人員207名でした。

2008年度は、これまでを振り返り、まずは、しっかり野菜を作ることで地域の信頼を得、これまで御蔵で培った、ノウハウを活かし、目標へ一步一步近づくことです。

#### ・台湾

(台日交流古民家移築事業 2007年3、4月号参照)

台湾に日本の古民家を移築する事業。苦戦していますが、現在台北県の方に申請書類を提出し、建設の使用許可が出ました。現在建設に向けて、準備しています。

### 1 - 2 平常時(事前復興)まちづくり支援事業

#### ・東大阪

地元の人との共感、共同の難しさを感じています。こちらにも伝える事で確立しているのが、出来るのが防災やまちづくりの視点しかなく、現在、住民の興味の持つ視点まで到達できませんでした。

これまでの活動のまとめを早くし、平常時のまちづくりにも支援できるように取り組んでいるところです。近年予測されている上町台地や東南海地震の事を考えると一刻の猶予もないのですが…。阪神・淡路大震災からの、人と人の実感をつなぐ想像力が必要と感じながら、その心は何か模索しています。

#### 2 - 1 御蔵地区復興研究

多くの方と協力するための環境作りをしています。

事務所に研究のための場所をつくりました。2007年12月には運営委員の先生にお声かけいただき、『復興コミュニティ論』(弘文堂)(月刊まち・コミ2007年10・11月号紹介)にも御蔵の復興まちづくりが掲載されています。

学術誌「減災Vol.3」には、御蔵のまちづくりと出石の災害後の事例が掲載されています。

## 2 - 2 まちづくり研修事業

### ・外部講演

関係者のご協力できています。



3/12糸魚川東中学校 大阪の宿泊先へ出張講演

- 2007/5/9 神戸国際大学講義「NPO論」
- 2007/5/10 神戸国際大学講義「市民参加論」
- 2007/6/24 日本ボランティア学会  
「社会的排除と市民活動 生きることの  
しんどさをこえて」パネラー
- 2007/7/3 大阪経済大学授業「地域文化論」
- 2007/7/6 (社)多治見青年会議所講演会  
「阪神・淡路大震災に学ぶ、  
地域住民の連帯意識を高める方法とは」
- 2007/9/4 武豊町
- 2007/11/20 「第5回火山都市国際会議 島原大会」  
パネラー
- 2008/1/27 上笠町自治会連合「阪神大震災の教訓」
- 2008/2/17 東京都足立区

- 2008/3/1 宇和島市  
「密集市街地の整備改善可能性」
- 2008/3/12 新潟県 糸魚川市立糸魚川東中  
「阪神・淡路大震災からの復興と今」
- ・各種団体受入
- 2007/4/4 NPOみやざき  
「宮崎青年会議所 - 語り部と歩く被災地巡り」
- 2007/4/8 外部視察受入案まとめ
- 2007/4/14 山田組「名古屋環境大学」
- 2007/4/20 台湾彰化県埔鹽郷公所  
「日本社区营造考察」
- 2007/6/11 松本市役所島内出張所
- 2007/7/30 大矢根ゼミ合宿
- 2007/7/31 大矢根ゼミ合宿
- 2007/9/1 連合愛知
- 2007/9/11 京都大学防災研究所  
「世界の災害からの復興プロセスを学ぶ」
- 2007/9/17 神戸大学・防災ユースフォーラム
- 2007/9/28 津幡町「神戸被災地視察  
田中保三氏による講話・スライド・まち歩き」
- 2007/9/29 まちづくり支援機構「宮城県  
災害復興支援土業連絡会-神戸被災地視察」
- 2007/10/20 山鹿市民生児童委員協議会  
「語り部と歩く被災地巡り」
- 2007/10/28 大真空労働組合  
「語り部と歩く被災地巡り」



6/11 松本市役所島内出張所 研修

- 2007/10/30 日本NPOセンター  
「JICA- 地方自治体と市民社会組織との協働関係」
- 2007/11/1 神戸まちづくり研究所  
「防災科学技術研究所 - 阪神淡路大震災の被災コミュニティに関する現地調査」
- 2007/11/26 安山会
- 2007/11/26 神戸まちづくり研究所  
「JICA- 中米地域防災対策」
- 2007/12/11 関西NGO協議会  
「JICA-NGO連携による実践的参加型村落開発コース」
- 2008/1/26 郡山南中地域「文部科学省 - 「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業」
- 2008/3/6 アジア防災センター  
「JICAのトルコ自治体防災能力強化」
- 2008/3/9 墨田区耐震補強推進協議会と  
首都圏の耐震を考える会有志

・ 修学旅行生の受け入れ



5/22日比野中学校修学旅行受け入れ

- 4/16 新潟県 五泉市立五泉北中学校
- 5/9 富山県 高岡市立芳野中学校
- 5/10 千葉県 船橋市立葛飾中学校
- 5/13 富山県 富山市立大泉中学校
- 5/17 岐阜県 岐阜市立加納中学校
- 5/20 高知県 高知市立大津小学校
- 5/22 愛知県 名古屋市立日比野中学校
- 5/25 岐阜県 岐阜市藍川北中学校
- 5/30 静岡県 静岡市立清水庵原中学校
- 5/31 岐阜県 美濃加茂市立西中学校

- 6/8 神奈川県 相模原市立相原中学校
  - 6/14 愛知県 名古屋市立天神山中学校
  - 10/19 和歌山県日高郡日高川町立 早蘇中学校
  - 10/30 埼玉県立 滑川総合高等学校
  - 11/1 新潟県 柏崎市剣野小学校
  - 11/15 山形県立米沢商業高等学校
  - 12/5 静岡県立 清水南高等学校中等部
- トータル17校、1236人の受け入れがありました。また、語り部メンバーは、2カ月に1回のペースで研修会を開催し、12月には広島への研修に行ってきました。

・ 御蔵学校

11月3日に「まち・コミのこれから」というテーマで行いました。

3 - 1 情報発信事業

・ 月刊まち・コミ

07年度の発行は、4月号、5月号、6月号、7月号、8・9月号、10・11月号まででした。

・ Webまち・コミ

事情により、発信をストップしています。

3 - 2 地域間交流事業

住民有志で、他地域の方と交流しました。7/7と10/21に行われた出石市民農園の収穫祭では、そばめし屋台などを出店しました。



10/21 出石市民農園収穫祭で、そばめし出店



## まち・コミおすすめBOOK

『阪神・淡路大震災の生活再建・復興の今  
～神戸市長田区御蔵における取り組み～』

06年度版、07年度版

制作：専修大学文学部人文学科社会学専攻

社会調査論実習I / II履修者

編集：大矢根淳



06年度、07年度の2回、専修大学文学部人文学科社会学専攻の授業、社会調査論・実習 / (担当教員:大矢根淳教授)の学生が、夏休みを利用し、御蔵での調査を行いました。学生2名がペアになり、御蔵の住民や事業所を訪ね、ヒアリングしました。調査の後、授業の中でまとめ作業を行い、完成したものが当報告書です。学生たちが御蔵で聞いた話が、詳細に報告されています。

授業関係者の資料としてまとめられた報告書ですが、今回大矢根教授にご理解とご協力をいただき、ご興味のある月刊まち・コミ読者の方へお届けできることになりました。

ご希望の方は、まち・コミュニケーションまでご連絡ください。06年度版は3冊、07年度版は10冊あります。(送料はご負担ください)

## 大地のつぶやき

く 九十三才 児島ハツ子さんのこと く

去る四月十七日に亡くなられた児島ハツ子さんは、震災時村野工業高校前でお好み焼「初ちゃん」を営んでおられた。震災で家が倒壊し、高齢ということもあって商売に見切りをつけた。村野工業高校を避難先とし、次いで娘さん宅に身を寄せ、垂水のマンションを経て五年後、復興公営住宅御蔵第三住宅に夫婦で移られた。共同住宅みくら5の一階のふれあい喫茶や食事会に、ご夫婦で良く来られ、それ以来のおつき合いだった。

途中でご主人が亡くなられ、一人住まいになって、なにかにつけて声を掛け合っていた。飲食を共にしたり、胡瓜の漬物も再三頂いた。何時も着物をキチンと着られ、背筋をピンと張って颯爽と歩かれる姿は、どう見ても七十代だ。

言葉も明瞭で「修学旅行の語り部になって」と誘うと、「人前でよう喋らんワ」と断られたが、無理遣りに誘ったのに、何時の間にか先頭を立っておられた。身だしなみの乱れた生徒に「これ！でれっとせんとシャツを中に入れて、しっかベルトを締めなさい」と一喝。生徒も気魄に押されて素直に従っている。九十年余の生き様を見せつけられ脱帽あるのみ。語りの触りは、震災直後自宅が傾き真つ暗な中「二階のおじいちゃん(主人)に声をかけたんですが聞こえないんです。しばらくして、すごい音がしました。階段が外れているのに気付かず、二階から落ちたんです。その後、どこをどうして逃げたんか。後で知ったんですが、娘の家に行ったとき、おじいちゃんの足の裏はいっぱいガラスの破片が刺さっていて、孫に取って貰ったそうです。痛かったやろに可哀想でした」。また十七日夜、こった返す村工体育館一階では、「懐中電灯がしょっちゅう光り、その都度ご遺体が二階に運ばれるんですよ。数の多さに二階が落ちないかと思いました」と涙ぐんで語られ、生徒の涙を誘う。生徒たちに感動を与え、バスを見送る際にはヤンヤの喝采を浴び、ハツちゃんは意気軒昂。

「健康に老いる」を地で行き、生き切る手本を示された。

株式会社兵庫商会 田中保三

# まち・コミ活動報告

2/1 ~ 3/31

- 2/1 インドネシア視察調査 2/10まで 2/29 宇和島行き  
(宮定・戸田) 3/1 出張講演(宇和島・田中) 3/12 出張講演(大阪のホテルへ・  
系魚川東中・田中)
- 2/10 インドバイオトイレ建設 2/23 3/5 こころのケア研修(戸田) 3/14 アドバイザー派遣報告会
- まで(宮定・藤川・神大渡邊) 3/5 まち・コミ運営委員会(神戸) 3/28 修学旅行下見(080609 第八中)
- 2/17 出張講演(足立区・田中) 3/6 研修受入 3/29・30 出石市民農園  
(じゃがいも植え)
- 2/23 修学旅行下見(080521 熊毛中) (トルコ・JICA・  
アジア防災センター)
- 2/24 修学旅行下見 (080619泉が丘中) 3/9 研修受入(墨田区建築士研修)
- 2/29 アドバイザー派遣 (東末氏来訪) 3/11 修学旅行受け入れ研修会

## ご支援、ありがとうございます。

2/1 ~ 3/31

### 賛助会員(新規・継続)

森敏昭(兵庫県) 大谷良心(奈良県) 小澤紀美子(東京都) 伊串泰純(宮城県) 菱倉哲(東京都)  
 横田尚俊(山口県) 岡田幸子(東京都) 堀井宏悦(兵庫県) 岸田圭位子(兵庫県)

### 寄付

澤田修一郎(京都府) 宗岡摩佐子(兵庫県)

### 協力

社団法人シャントイ国際ボランティア会(東京都) 株式会社兵庫商会(兵庫県)

【順不同・敬称略】

## 新規賛助会員募集&更新のお願い

まち・コミでは、さらに活発に活動を行うため、賛助会員を募集し、金銭面でのご支援をいただいております。会費は、事業推進のために活用させていただきます。賛助会員のみなさまには、会員特典をご用意しておりますので、ぜひ賛助会員への登録をお願いいたします。

また、賛助会員は1年更新とさせていただきます。現在賛助会員の方も時期がきましたら、更新をお願いいたします。(期限は「月刊まち・コミ」郵送時の封筒の、宛名の下に記載していますので、ご確認ください。)

### 会員特典

本誌「月刊まち・コミ」の送付。

まち・コミュニケーションに関する、Eメールでの情報送付、WEBの特別ページの参照

よろしくおねがいいたします。

編集後記 ご報告です。5月26日に、関西テレビの夕方ニュース「ニュースアンカー」で、修学旅行受け入れの様子が放送されました。(戸)

### 年会費

個人・法人 年間5000円  
 学生 年間3000円

### 郵便振替口座番号

00950-3-42788

### 口座名称

「まち・コミュニケーション事務局」

2008年6月1日発行

編集/発行 まち・コミュニケーション

定価 100円

御蔵事務所 〒653-0014

神戸市長田区御蔵通5-5

TEL 078-578-1100 / FAX 078-576-7961

東京事務所 〒162-0052

東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学部浦野研究室内

神奈川事務所 〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1-1

専修大学文学部大矢根研究室内

e-mail m-comi@bj.wakwak.com

URL http://park15.wakwak.com/~m-comi/